

最新医療
岡崎市民病院
～医療の現場から～
第4回

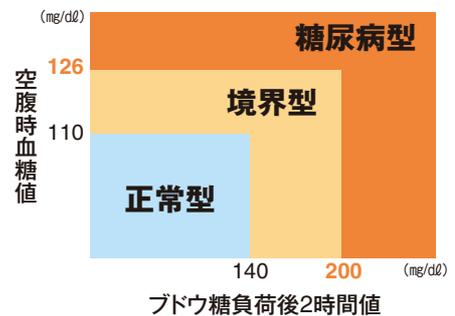
血糖値、測っていますか？

健康診断や人間ドックなどで測定する血糖値は、血液中のブドウ糖の濃度の値です。活動のエネルギー源となるブドウ糖は、インスリンという物質により調整され、血液中で一定濃度に保たれています。

空腹時か食後かで血糖値は大きく異なります。基準値は70～109mg/dlとされていますが、食事をすると炭水化物が分解されブドウ糖として吸収されるため、血糖値は高くなります。空腹時血糖値が126mg/dl以上、または食後血糖値が200mg/dl以上であれば、糖尿病の疑いがあり、必要に応じて精密検査を行います。血糖値が高い状態が続くと様々な病気（合併症）を引き起こします。糖尿病は、初期段階では自覚症状が乏しく、合併症は気付かないうちに進行するので、早期発見・治療が大切です。

近年、医療現場では糖尿病患者さん

血糖値の判定基準



※通常の検査で異常がある場合、ブドウ糖負荷試験やHbA1cの測定を行い糖尿病の診断をします。

の未受診・受診中断が大きな問題となっています。市民病院の糖尿病センターでは、各専門家による療養支援や透析予防指導などに加え、歯科と連携した口腔管理も積極的に行い、患者さんが治療を継続できるようサポートしています。また、病気への理解が図られるよう、入院患者さんへの糖尿病教室や一般向けの「糖尿病を学ぶ集い（18頁参照）」も開催しています。11月14日の世界糖尿病デーには、市民講座や血糖値測定、インスリン針体験などができるイベントを図書館交流プラザで開催します。この機会に糖尿病について学んでみてはいかがでしょうか。

岡崎市民病院 糖尿病センター

鈴木 陽之

市民病院を受診する際は「かかりつけ医」の紹介状をお持ちください。

OKAZAKI DATA おかざきデータ

9月1日現在の 岡崎市の人口

男	195,620人	+14人
女	190,370人	+43人
計	385,990人	+57人
世帯数	159,177世帯	+165世帯

8月末現在の 岡崎市内の 交通事故状況

	人身事故 件数	死傷者		
		死者	負傷者	合計
平成29年	1,367件	5人	1,553人	1,558人
平成28年	1,354件	6人	1,518人	1,524人
比較	+13件	-1人	+35人	+34人

※死者数は事故発生から24時間以内に死亡した人です。

8月末現在の 岡崎市内の 犯罪発生状況

	刑法犯 総数	うち窃盗犯		
		侵入盗	乗物盗	非侵入盗
平成29年	1,618件	125件	311件	725件
平成28年	1,813件	145件	461件	659件
比較	-195件	-20件	-150件	+66件

岡崎警察署 (☎58・0110) からのお願い

秋は夕暮れ時の侵入被害が多発します。暗くなっても灯りがつかなければ不在であることが一目瞭然。電灯をつけておくなど、留守を悟られないようにしましょう。

JR岡崎駅周辺整備

南の玄関口であるJR岡崎駅周辺は、近年高層マンションの建設や飲食店などの出店が著しく、鉄道利用者も増加しています。

市では、こうしたまちの賑わいをさらに創出するため、民間事業者による複合集客施設の建設を進めてきました。6月30日には、1653台の自転車

岡崎市長
内田 康宏

夢ある新しい
おかざき
Dream Okazaki



と230台の原動機付き自転車が収容可能な2階建ての自転車駐輪場がオープンしました。市民の利便性の向上や、盗難防止、放置自転車の減少に繋がることを期待しております。10月には、結婚式も可能な300人規模のコンベンションホールや駐車場がオープンします。更にホテル、レストラン、カフェを備えた商業施設が来年1月より本格的な営業を開始します。その隣には、イベント利用も可能で、市民の憩いの場となる噴水付きの公園が3月に完成する予定です。

今後は、商業施設とJR岡崎駅を直結するペDESTリアンデッキの整備も平成31年秋頃までに進め、人が集まる魅力あるまちづくりにしっかりと取り組んでまいります。

この地域の発展と新たな賑わいづくりにご期待ください。